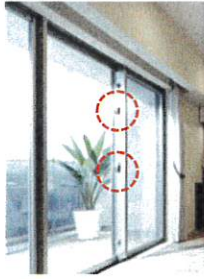


【KODOMORE 4つの視点(詳細)】



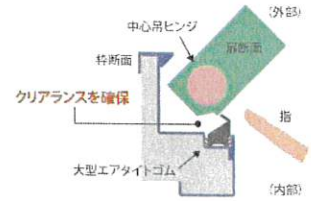
「安心・安全を。」：好奇心旺盛な子ども達は、危ないものでもすぐに手を伸ばして触ろうとしてしまいます。日常生活の中で「ヒヤリ」とすることは意外とたくさん！住宅側でできる限り危険を回避できるよう、住まいの細部に至るまで、安心・安全な工夫を配しました。



□2段のクレセント
(住戸リビングの掃出窓等)
小さい子どもの手が届きにくい高さにもう一つのクレセントを。不用意に鍵をあけ、親の気が付かない間にバルコニーへ出てしまう、そんな危険を回避します。



□デュアルクローズ機能
(住戸内引戸)
ゆっくり開閉できるので指はさみのリスクを軽減。



□指はさみ防止(住戸玄関ドア)
玄関ドアの戸尻部の隙間を無くすことで、玄関ドアを閉じる際の指はさみ事故の防止に配慮。



「子どもの成長。」：子どもが「やってみよう」と思うことが成長の第一歩。その一歩を「できた」の自信に繋げるよう、子どもの高さに合わせていたり、専用のスペースを設けることで自発的な成長をサポートします。



□2段のハンガーパイプ
(住戸内一部クローゼット)
子どもの成長に合わせて手の届く高さに調整可能。



□マルチストレージプラン(一部住戸間取り)
家族のものが多くなりがちリビングに面した大型収納。子ども専用のスペースを設けることで、お片付けする習慣づけにも。



□ファミリートイレ(共用部)
幼児用トイレや手摺を併設し、子どもが自分でやってみたくなる気持ちを促進。子どもから大人まで、誰にでも使いやすいトイレ。



「親のゆとりを。」：子どもと過ごす時間、子どもの世話にかかる時間…でもそれだけではなく、親自身に時間を作ってあげること。便利で快適な住まいで時間や心にゆとりを作り出せたら、子どもとしっかり向き合える気持ちの余裕や、小さなことでイライラしないおおらかな心が生まれるはず。親の心と体のゆとりは、巡り巡って子どもに返っていきます。



□室内物干し(住戸内)
雨の日や花粉等の多い時期には大活躍！インテリアにも配慮し、取り外しできるものを採用。



□マンション内カート(共用部)
荷物の多い時や宅配ロッカーで荷物を受け取った時に、住戸まで快適に荷物を運べます。



□自転車空気入れ(共用部)
いざという時、わざわざ家まで取りに戻ることなくいつでも気軽に利用できます。



「共に楽しむ。」：子どもから大人まで楽しめるイベントを開催するなど交流の場を設け、同じマンションの住民同士がコミュニケーションを図ることができるようお手伝いをします。子どもと一緒に楽しむ仕掛けや子どもの見守りができる仕掛けをつくることで、マンションのみんなも、子どもたちを見守る“目”となってくれることでしょう。



□コミュニケーションと見守りの
三角形プラン(一部住戸間取り)
キッチンとLDや洗面室が隣接しているので、家事をしながらでも、子どもがリビングで遊んだり、LDに面したお部屋で勉強している様子や、お風呂や歯磨きの様子を見守ることができます。また小さな子どもも、キッチンにいるママの顔が見えるだけで安心して遊びに集中できます。



□イベントの企画・開催
※管理委託先による企画・開催となります。
住まう方同士が知り合うきっかけ作りにもなる“ウェルカムパーティー”をはじめ、子どもから大人まで楽しめる企画を開催。住まう方同士のコミュニティづくりをサポートします。

【“4つの視点“を盛り込んだ共用施設】

[ファミリーラウンジ] (ローレルスクエア東花園採用例)

キッズルーム、パーティールーム、集会室… さまざまなシーンを実現する共用スペース。
お友達同士やお子様を交えたパーティー、コミュニティづくりのためのイベント等を想定した設えを施しています。
お子様だけではなく、大人にも居心地がいいようインテリアにもこだわりました。



ファミリーラウンジ完成予想図

